

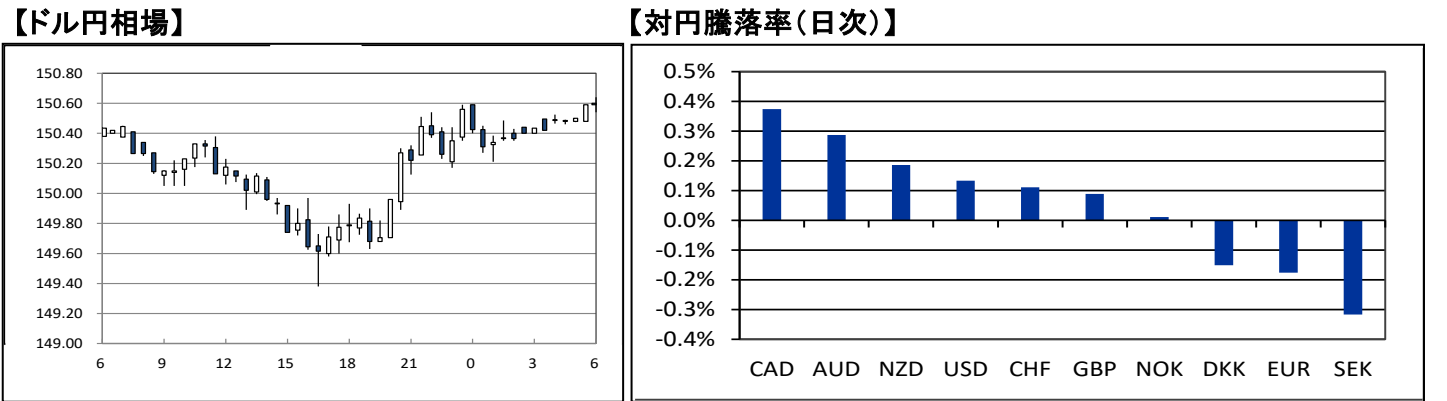
みずほCustomer Desk Report 2025/10/20号(As of 2025/10/17)

【昨日の市況概要】				公示仲値	150.21
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.14	1.1699	175.62	1.3450	0.6480
SYD-NY High	150.64	1.1728	175.95	1.3471	0.6502
SYD-NY Low	149.38	1.1650	174.85	1.3391	0.6444
NY 5:00 PM	150.59	1.1653	175.53	1.3439	0.6498
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	46,190.61	238.37	日本2年債	0.9000%	▲0.0100%
NASDAQ	22,679.97	117.43	日本10年債	1.6200%	▲0.0300%
S&P	6,664.01	34.94	米国2年債	3.4626%	0.0414%
日経平均	47,582.15	▲ 695.59	米国5年債	3.5934%	0.0476%
TOPIX	3,170.44	▲ 32.98	米国10年債	4.0098%	0.0372%
シカゴ日経先物	48,365.00	230.00	独10年債	2.5781%	0.0091%
ロンドンFT	9,354.57	▲ 81.52	英10年債	4.5315%	0.0315%
DAX	23,830.99	▲ 441.20	豪10年債	4.0990%	▲0.0710%
ハンセン指数	25,247.10	▲ 641.41	USDJPY 1M Vol	9.50%	▲0.16%
上海総合	3,839.76	▲ 76.47	USDJPY 3M Vol	9.34%	▲0.19%
NY金	4,213.30	▲ 91.30	USDJPY 6M Vol	9.51%	▲0.06%
WTI	57.15	0.16	USDJPY 1M 25RR	▲1.04%	Yen Call Over
CRB指数	293.35	▲ 0.50	EURJPY 3M Vol	8.01%	▲0.12%
ドルインデックス	98.43	0.10	EURJPY 6M Vol	8.44%	▲0.05%

東京	東京時間のドル円は150.14レベルでオープン。仲値近辺はドル買い優勢であったが、その後は米中貿易摩擦の先行き不透明感や米地銀の信用懸念もあってか、米金利の低下や軟調な株式相場を横目にドル売り優勢の展開。正午過ぎには節目の150.00を割り込み、149.72まで下げ幅を拡大。結局、149.80レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、149.80レベルでオープン。米地銀関連の不透明性からかリスクオフの様相となり、一時149.38までドルが売られる。その後、反発し150.26レベルでNY市場に渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は米中貿易摩擦の再激化を巡る懸念がやや後退した事を受け、米株高の展開を背景に150.60付近まで上昇する底堅い推移。午後は週末を控える中、150.50付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、150.59レベルでクローズ。一方、ユーロドルは米金利の上昇に伴ったドル買いが重しとなり、1.1657まで下落する軟調な推移。午後は下げ渋り、1.1670付近をほぼ横ばいで推移し、1.1653レベルでクローズ。

【昨日の指標等】					
Date	Time		Event	結果	予想
10月17日	18:00	欧	CPI(前年比)・確報	9月	2.2%
	18:00	欧	CPI(前月比)・確報	9月	0.1%

【本日の予定】					
Date	Time		Event	予想	前回
10月20日	11:00	中	GDP(前年比)	3Q	4.7%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	9月	3.0%
	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	9月	5.0%
	15:00	独	PPI(前月比)	9月	0.1%
	15:00	独	PPI(前年比)	9月	-1.5%



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.40-151.40	1.1600-1.1700	175.00-176.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日東京時間は終始ドル軟調地合いの中、夕方に149.38円まで下押し。しかしながら、海外時間に入ると「トランプ米大統領による対中関税100%は持続不能のコメント」や「習近平国家主席との会談実施の報道」を背景に米中貿易懸念の緩和、米株上昇の展開となり、ドル円は150.60円近辺まで上昇。米金利上昇もドル堅調地合いをサポートし、結局高値圏の150.63円でクローズ。

本日の東京時間は、先週の株式堅調の流れ、5-10日の本邦実需の動きを想定し、下値しっかりの展開を予想。午前中に中国の主要経済指標(3Q GDP/9月 小売売上高/9月 鉱工業生産)が発表されるので、指標結果による相場の上下には注意を払いたい。